Meta「Muse Wonder」「Muse Wonder Full」調査レポート

― 発表内容の検証、性能・提供条件、評価・反響、知財業務への影響 ―

2026 年 10 月 13 日時点

Claude Opus 5.5

要旨

- **発表は実在する。**Meta は 2026 年 10 月 12 日（米国時間）、「Muse Wonder」と上位版「Muse Wonder Full」を公式に発表した[1,2,3]。日本時間では 10 月 13 日にあたり、名称・日付とも依頼内容のとおりである。社内コードネームは「Watermelon（西瓜）」と報じられている[4,5]。
- **クローズドで、提供経路は二本立て。**重みは公開されない[6]。Wonder は API（100 万トークンあたり入力 4 ドル／出力 20 ドル）で利用できる[7,8]。Wonder Full は API では提供されず、コーディング用サブスク「Muse Code」の月額 50 ドル／200 ドルのプランに限られる[6]。
- **性能はフロンティア上位だが、首位ではない。**Artificial Analysis Intelligence Index v4.3 で Wonder Full は 56、Wonder は 52 である。首位の Claude Opus 5.5（58）に次ぎ、GPT-6 Astra と Claude Fable 5.1（53）を上回った[9,10]。Vals AI Index でも Wonder Full は 5 位に入り、OpenAI の全モデルを上回った[11]。
- **知財実務への含意（分析）。**法務エージェント評価 Harvey LAB-AA の Meta 公表値では、Wonder Full が比較対象中で首位（13.1%）である[12,13]。一方、知識評価 AA-Omniscience は 30 点と低い[9]。このため、渡した文書を処理する作業（中間処理案、契約レビューの下書き）には有望で、モデルの記憶に頼る先行技術の想起には向かないと判断する。
- **利用前の確認事項。**日本から API を利用できるかは未確認である。また、コーディング用サブスクは、入力が学習に使われる「Contributor モード」が既定とされる[14]。機密案件では設定の変更が欠かせない。

凡例：本文では、出典で確認した事実と、筆者による分析・推測を区別し、後者には「（分析）」「（推測）」と付記する。上付き番号は文末の参考文献に対応する。参考文献の※は、本文を直接取得できず転載・見出し等で確認したもの、または URL 等が未確認のものを示す。

1. 発表の事実確認

1.1 一次ソースで確認できた事実

- Meta 公式ニュースルームが、2026 年 10 月 12 日に「Introducing Muse Wonder and Muse Wonder Full: Frontier Models for Agents」を公開した[1]。同日、研究ブログ「Muse Wonder: A Frontier Model For Personal & Professional AI Agents」とモデルカードも公開されている。モデルカードのリリース日は「October 12, 2026」である[2,3]。
- 正式名称は「Muse Wonder」と「Muse Wonder Full」である。API のモデル ID は「muse-wonder-1.0」で、Wonder Full は API では提供されない[8]。
- 公式発表は、今回のモデルを、14 か月前に始めた AI 体制の全面刷新の成果と位置づけている[1]。なお、発表本文には開発組織（Meta Superintelligence Labs）の名称は明記されておらず、関連記事へのリンクに登場するだけである[1]。
- 学習は、Meta のギガワット級データセンター「Prometheus」（オハイオ州）で行われた[2,15]。

1.2 誤記・誤報への注意

媒体	内容	評価
ITmedia NEWS	記事概要（メタ説明文）に「Muse Wonde Full」という誤記がある。本文は正しい表記[13]	単純な誤記
TechCrunch	「MemoryBench」を外部の arXiv 論文（2510.17281）にリンクしている[15]	モデルカードは MemoryBench を、64K〜100K トークンの会話で想起精度を測る社内ベンチマークと定義[3]。同名の別物と混同している可能性が高い（分析）
Forkast／Yahoo Tech	「研究ブログに記載がなく、独立したベンチマークも存在しない」と報道[16,17]	Forkast が確認したのは研究ブログの一覧ページだけで、記事自体は公開済み[2]。独立評価も同日中に公表された[9,11]。現時点では当たらない
AGI Hunt	拡散したベンチマーク図を「比較モデルがすべて架空の捏造ランキング」と判定[18]	比較対象の GPT-6 Astra や Claude Opus 5.5 は実在する公表モデルであり[3,13]、判定の前提

媒体	内容	評価
		が誤っている

リスク評価の枠組みの名称にも注意が必要である。今回は「Meta Superintelligence Scaling Framework」に基づくと明記されている[3]。Llama 時代の「Frontier AI Framework」との正式な関係（改称か後継か）は確認できなかった。

2. モデルの概要

2.1 Wonder と Wonder Full の違い

項目	Muse Wonder	Muse Wonder Full
位置づけ	標準版。API 経由で利用できる	上位版。ベンチマーク上の最高性能を示す[6]
提供経路	Meta Model API（Standard モードのみ）、Muse Code[6,8]	Muse Code の Power Usage（月額 50 ドル）と Maximum Usage（月額 200 ドル）のみ。API では提供されない[6,8]
API 価格（100 万トークンあたり）	入力 4.00 ドル／キャッシュ入力 0.20 ドル／出力 20.00 ドル[7]	—（サブスク内でのみ利用）
レート上限	3,000 RPM／400 万 TPM（チーム単位）[7]	—
入出力	入力：テキスト・画像・動画・音声・PDF／出力：テキスト[8]	公表資料はシリーズ共通の記載
コンテキスト長	1,048,576 トークン[8]	100 万トークン[3]
推論設定	reasoning effort を「minimal」から「max」まで指定できる。ただし「max」にしても Full にはならない[8]	SWE-Marathon の比較では「xhigh」で実行[3]
ステータス	API 上は「preview」[8]	—

非公表の事項：パラメータ数、アーキテクチャ、学習トークン数、知識カットオフは公表されていない[3]。

中核機能（Meta の主張）：「Active Memory」は、会話をまたいで重要な文脈を保持し、必要なときに取り出す機能である。「Active Focus」は、難しいタスクでも別の手段を試し、エラーから復旧し、重要な行動の前には確認を挟んで、最後までやり遂げる機能である。Meta は想定用途として、法律・金融・健康分野の専門タスクと、フロンティア水準のコーディングを挙げてい

る[1]。

2.2 Muse 系列の中での位置づけ

- Muse Spark 1.3（2026 年 9 月 2 日公開）[19]は、AA 指数 48、API 価格が入力 1.25 ドル／出力 4.25 ドルの小型・高効率モデルである[20]。Wonder は Spark より大型の上位モデルで、SiliconANGLE は約 6 週間前に公開された Spark 1.3 の後継と位置づけている[21]。
- Meta は、未知のタスクでの性能が、Spark 1.3 の傾向線から予測される水準を上回ると主張している[2]。これは、ベンチマーク最適化（いわゆる benchmaxxing）への批判に対する反論材料とみられる（分析）。
- オープンウェイトのモデルは別系統で、30B の「Muse Glimmer」（2026 年 8 月 10 日公開、Apache 2.0）がこれにあたる[22,23]。
- Spark 1.3 は「Fable 5 に匹敵」と報じられていた。これに対し Wonder Full は、AA 指数で Fable 5.1 を 3 ポイント上回る[9]。Muse 系列が一段上の水準に入ったと評価できる（分析）。

3. ベンチマーク

3.1 Meta 公表値

評価	Wonder Full	Wonder	GPT-6 Astra	Claude Fable 5.1	Claude Opus 5.5
Harvey LAB-AA（法務）[12,13,21]	13.1	10.0	8.6	6.4	4.2
SWE-Marathon[3,21,24]	57.5	53.1	42.5	—	46.3
Personal Superintelligence Index（Meta 社内指標）※	59.1	54.3	54.5	49.9	55.2
MemoryBench（Meta 社内指標）※	85.5	85.6	81.4	79.0	81.5

※PSI と MemoryBench の値はモデルカードの図表に掲載されたものとされるが、本調査ではテキストとして確認できなかった[3]。いずれも Meta 自身が設計した指標である。

- Meta の比較対象は、GPT-6 Astra、Claude Fable 5.1、Claude Opus 5.5 の 3 モデルに限られる。Gemini、Grok、DeepSeek、Qwen との直接比較はない[12]。

- モデルカード自身が、競合モデルの実行は「best-effort」であり、SWE-Marathon は統制された共通環境での比較ではないと注記している[3]。
- Meta 自身の比較でも、ProgramBench（70.5%対 59%）、HealthBench Pro、OSWorld V2.1 では Opus 5.5 が上回っている[21]。一方、DeepSWE 1.1 では Wonder Full が 79.0、Opus 5.5 が 74.2 と報じられている[13]。

3.2 第三者評価

指標	主な結果
Artificial Analysis Intelligence Index v4.3	Opus 5.5：58／Wonder Full・Sonnet 5.5：56／GPT-6 Astra・Fable 5.1・Gemini 4 Argon：53／Wonder：52／Spark 1.3：48[9,10]
AA-Omniscience（知識の正確さ）	Wonder Full 30、Wonder 25（参考：Opus 5.5 は 46、Sonnet 5.5 は 32）[9,10]
ハルシネーション率	Wonder Full 23%（Spark 1.3 の 33%から改善）、Wonder 27%[9,10]
コスト	Intelligence Index の 1 タスクあたり 4.52 ドル（Spark 1.3 の 1.60 ドルの約 2.8 倍）。Wonder Full はトークン課金ではないため算出されていない[10]
Coding Agents Index	Muse Code＋Wonder Full：68（Claude Code＋Sonnet 5.5 と同点）[9]
Vals AI Index	Wonder Full（max）：47 モデル中 5 位（64.57%）で、OpenAI 最上位の GPT-6 Astra（7 位、63.13%）を上回る。Wonder：10 位（61.06%）[11]

- Wonder Full は、Intelligence Index を構成する 10 評価のうち 6 つで上位 3 位に入った[9]。
- AA 独自の Harvey LAB-AA v1.1 リーダーボードには、本調査時点で Wonder 系はまだ掲載されていない。首位は Grok 4.7（9.4%）で、GPT-6 Astra は 8.6%である[25]。Meta 公表の Astra 値（8.6%）は AA の値と一致しているため、Wonder Full の 13.1%が AA で再現されれば首位になる（分析）。
- LMArena、ARC Prize、Epoch AI による評価結果は、本調査では確認できなかった。

4. 提供形態・データ利用条件・地域

4.1 提供形態

- 両モデルとも、ダウンロード可能な重みは公開されない[6]。

- Muse Code のプランは月額 5／15／50／200 ドルの 4 段階と報じられており、Wonder Full は 50 ドルと 200 ドルのプランで使える[6,12]。
- 個人エージェントアプリ「Muse」への Wonder 搭載は、まず加入者から順に行う予定である[1]。Muse アプリ自体は米国とカナダのみで提供されており、欧州での提供時期は発表されていない[26]。
- WhatsApp や Instagram など、ほかの Meta 製品への搭載時期は、本調査の範囲では確認できなかった。

4.2 データ利用条件（Meta Model API 利用規約、2026 年 10 月 9 日最終更新）

項目	規約の内容[14]	条項
Standard モードの学習利用	送信された内容を Meta モデルの学習に使用しない	§5.1
Contributor モード	Meta による学習利用を許諾する。機密・センシティブ・個人情報の送信を禁止	§6.1、§6.2
コーディング用サブスク	「Coding Harness Subscription」は既定で Contributor モード。変更は将来分にのみ適用される	§3.3
入出力の権利	利用者に帰属する	§4.1
保存期間	固定日数の定めはない（「必要な範囲」）	§4.4
人手による確認	規約上認められている	§10.3
知財侵害の補償	Standard Services に限られる	§17.2
地域・契約主体	国別の Geographic Use Policy に従う。欧州の契約主体は Meta Platforms Ireland Limited	§10.1(v)、前文

規約は「Muse Code」という名称を用いていない。「Coding Harness Subscription」が Muse Code のサブスクを指すとみられるが、これは推測である。なお、API で提供される Wonder は Standard モードのみである[8]。

4.3 日本・EU での利用可否

- **日本：**Geographic Use Policy の本文を取得できなかったため、日本で API を使えるかどうかは一次ソースで確認できていない。

- **EU：**Muse アプリは欧州では提供されていない[26]。また、Meta は EU の GPAI 行動規範に署名していない（8.4 参照）。

5. Meta の戦略上の位置づけ

- **Wang 氏の説明：**Meta の AI 部門を率いる Alexandr Wang 氏は Bloomberg に対し、「真のフロンティアモデル」であり、個人・職業向けのエージェント業務で特に最先端だと述べた。また、他社がコーディングエージェントに集中するなかで、Meta は差別化した方向を取ると説明した[4]。
- **ザッカーバーグ氏の説明：**Financial Times に対し、Meta はフロンティアに到達したと述べた。FT は、同氏が開発の減速を求める声を退けたと伝えている（FT による要約）[27]。
- **投資規模：**Meta は Scale AI に 143 億ドルを投じて 49%を取得したと報じられている（評価額 290 億ドル、匿名の情報源による）[28]。ザッカーバーグ氏はポッドキャストで、昨年末、モデルを見る前に 1,000 億〜2,000 億ドル規模の投資を約束したと語ったとされる。ただし、この点は AI 生成の要約と二次報道に基づく[29,30]。
- **課金の実験：**CNBC は、Wonder の投入を、消費者が AI にお金を払うかを試す最新の実験と位置づけている[31]。
- **系列の整理（分析）：**Muse 系列は、Spark（小型・高効率）、Wonder（大型のフロンティアモデル、クローズド）、Glimmer（オープン・ローカル実行）の三層で構成されている。Llama はフロンティア開発の主軸から外れたとみられる。

6. 安全性評価

モデルカードは、Meta Superintelligence Scaling Framework に基づいて Wonder Full のリスクを評価している[3]。

- **化学・生物：**緩和策がない状態では、高リスク閾値に達する可能性を排除できないとしている[3]。
- **サイバー・制御喪失：**緩和策がない状態でも「moderate or lower」と評価している[3]。
- **主な指標：**MASK（正直性）87.3%、Agentic Misalignment 0%、CyberGym 88.4%[3]。

- **ExploitGym**：92 フラグを獲得したが、意図された脆弱性を突いたのは 21 件だけだった[3]。
- **プライバシー**：個人情報の取扱いを測る Meta 社内テストで、Wonder の違反率は 3.4%で、比較対象の中で最良とされる[32]。一方で、約 3%の違反率は高すぎるという声もある[33]。
- 追加の安全性評価を含む完全なレポートは「近日公開」とされ、本調査時点では公開されていない[2]。

7. 評価・反響

7.1 肯定的な見方

- WIRED は「Muse Wonder が Meta を AI フロンティアに戻した」という趣旨の見出しで報じた[34]。
- 中国語圏では、IT 之家（网易号に転載）が「個人超知能」と、会話をまたいで記憶する機能に注目した[35]。
- 日本語圏では、ITmedia、窓の杜、AI Watch が事実を中心に速報した[13,36,37]。

7.2 懐疑的・否定的な見方

- Hacker News では、ベンチマークで上位の Wonder Full はサブスク限定で、API で買えるのは Wonder だけだという指摘が出た。約 3%のプライバシー違反率は高すぎるという意見もあった[33]。
- daily.dev の集計（155 コメント）では、肯定 20%、混合 35%、懐疑 45%だった[38]。
- 虎嗅は、3D ゲーム系のタスクではまだ力不足だという利用者の声を伝えた。また、Wang 氏がコーディング能力で Opus 5.5 に及ばないと認め、複数のバグを調査中だと述べたことも報じた[5]。
- DEV Community は、Wonder の優位のうちベンチマーク向けの学習による部分がどれだけあるかをめぐって、Polymarket や Kalshi で賭けが行われていると伝えた[39]。

7.3 誇張・未検証の主張

- 「最新の GPT より賢い」「OpenAI の Astra を上回る」といった見出しがある[40,41]。OpenAI との比較に限れば、AA 指数（56 対 53）で裏づけられる。しかし総合首位は Opus 5.5 であり、「最高性能」と読むのは誤りである。
- IT 之家は「最強版は企業に直接販売する」と報じた[35]が、Meta 公式発表ではこの点を確認できなかった。

8. 知財業務への影響

8.1 全体判断（分析）

Wonder 系の強みは、「渡した文書を読み込み、指示どおりに長時間の作業を完遂する」能力である。これは Harvey LAB-AA での首位（Meta 公表値）、Active Focus、100 万トークンのコンテキストに表れている。弱みは、「モデル自身の知識を正確に出す」能力で、AA-Omniscience の 30 点がそれを示す[9]。知財業務では、この区別がそのまま向き不向きを分ける。

8.2 業務別の影響（分析）

業務	影響	理由・条件
先行技術・無効資料・FTO 調査	限定的	知識評価が弱く、モデルの記憶に頼った文献想起は危険である。検索 DB と組み合わせ、ヒットした文献の読解、対比表の作成、クレームチャートの下書きに使う場合に限り有効
明細書作成・クレームドラフティング	中	長いコンテキストと持続的な作業により、発明提案書・実施例・図面説明（PDF・画像入力）を一括で処理しやすい。ただし日本語の特許文体の品質を示す評価は公表されておらず、未検証
中間処理（拒絶理由対応）	中〜高（要検証）	拒絶理由通知・引用文献・明細書をすべて投入して補正案と意見書の骨子を作る作業は、LAB-AA の「文書から法務成果物を作る」形式に近い。最終判断は弁理士が行う前提
特許翻訳	未知数	モデルカードは、事前学習データに含まれるすべての言語で評価したわけではないとしている[3]。日本語・中国語の特許翻訳に関する評価はない
IP ランドスケープ・特許分析	中	エージェント的なデータ処理（コード実行・表作成）に強みがある。ただし 1 タスクあたりのコストは Spark 1.3 の約 2.8 倍で[10]、大量処理は Spark や Glimmer に振り分けるほうが合理的
契約・ライセンス業務	中〜高（要検証）	条項の抽出や差分レビューの下書きに向く
知財戦略立案	低〜中	Active Memory で案件の文脈を継続して保持できる点は有用であ

業務	影響	理由・条件
		る。ただし、機密性の高い戦略情報をクラウドに長く保存するリスクがあり、先にガバナンス面の検討が必要

8.3 機密保持・規約上の注意

- クローズドモデルであるため、社内のオンプレミス環境では運用できない。オンプレミスで使いたい場合は、同じ Muse 系列の Glimmer（30B、Apache 2.0）が選択肢になる[22]。
- コーディング用サブスクは既定で Contributor モードである[14]。出願前の発明情報をこのモードで送信すれば、規約違反になるうえ、学習に使われるおそれがある。新規性喪失との関係は法的に未確定だが、実務上は避けるべきである（分析）。
- Standard モードでも保存期間は固定されておらず、人手による確認も規約上認められている[14]。守秘義務の厳しい案件では、クライアントとの合意を事前に整理する必要がある（分析）。
- 知財侵害の補償は、Standard Services に限られる[14]。

8.4 学習データ・規制の論点

- **米国・Kadrey 事件：**2025 年 6 月 25 日、Chhabria 判事は Meta による一部略式判決（partial summary judgment）の申立てを認め、フェアユースを肯定した[42,43]。ただし判決は、本件がクラスアクションではなく 13 人の著者の権利にのみ影響すること、Meta による学習利用が適法だという命題を示すものではないことを明記した。さらに、市場希釈が第 4 要素で原告の決定的な勝利につながる可能性が高いとも述べている[42]。
- **新たな訴訟：**2026 年 5 月、作家 Scott Turow 氏と出版社 5 社（Hachette、Macmillan、McGraw Hill、Elsevier、Cengage）が、Meta とザッカーバーグ氏をニューヨーク南部地区連邦地裁に提訴した。LibGen や Anna’s Archive などから数百万点の書籍・論文を複製し、Llama の学習に使ったと主張している[44]。Muse 系列の学習データの内訳は開示されていない。
- **EU AI Act：**Meta の Joel Kaplan 氏は 2025 年 7 月、欧州は AI で誤った道を進んでいるとして、GPAI 行動規範に署名しないと表明した[45]。欧州委員会の報道官は、署名しない事業者

はほかの手段で遵守を示す必要があると述べている[46]。これが EU での提供の遅れの一因になる可能性がある（推測）。

- **日本・プリンシプル・コード：**知的財産戦略本部は 2026 年 8 月 25 日、「生成 AI の適切な利活用等に向けた知的財産の保護及び透明性に関するプリンシプル・コード」を公表した[47]。法的拘束力はなく、原則を実施するか、実施しない場合は理由を説明する方式である。日本向けにサービスを提供する海外事業者にも適用され、届出の受付は 2026 年 10 月 26 日に始まる[47]。Meta が届出を行うかは今後の注目点である。

8.5 他社モデルとの使い分け（分析）

- **選択肢になり得る場面：**PDF 一式を投入して行う法務・知財文書の起案、長時間のエージェント処理、Muse Code を使った社内ツールの開発。
- **選択肢になりにくい場面：**知識の網羅性が求められる調査、日本の企業ユーザーが正式な契約と DPA を結んで使う場面（地域の可否が未確定のため）、オンプレミス運用が必須の案件。第三者評価の総合指標では、Opus 5.5 が依然として上回っている[9]。

9. 推奨アクション

1. **短期（〜3 か月）：**日本から Meta Model API を利用できるかと、データ処理条件（DPA）を一次ソースで確認する。そのうえで、公開済みの特許・審査書類だけを使い、Opus 5.5、GPT-6 Astra、Wonder の 3 モデルで、中間処理案と対比表作成のブラインド比較を行う。
2. **ガバナンス：**社内ルールや IPIAGA の指針に、「Contributor 系モードの禁止」「メモリ機能付きエージェントに出願前情報を入れない」「出力の事実検証の義務化」を加える。
3. **中期（6〜12 か月）：**次の動きを監視する。オンプレミスの需要には、Glimmer のファインチューニングで応える選択肢を検討する。
   - Muse アプリへの搭載
   - EU・日本での提供開始
   - 安全性レポートの公開
   - AA の LAB-AA リーダーボードへの掲載

– プリンシプル・コードへの Meta の届出

10. 留意点・未確認事項

- Meta Model API の Geographic Use Policy の本文を取得できず、日本・EU での利用可否は確定していない。
- 発表から 1 日しか経っておらず、第三者評価は Artificial Analysis と Vals AI の初期値にとどまる。LMArena、ARC Prize、Epoch AI の結果は確認できていない。
- PSI と MemoryBench の値は、一次資料のテキストでは確認できていない。
- CNBC、WIRED、Bloomberg、FT の記事本文は直接取得できず、転載や見出しで確認した。
- 「Coding Harness Subscription」が Muse Code を指すという点は推測である。
- 知財業務への影響評価は、公開ベンチマークからの推論である。日本語の特許文書で実測したデータはない。

参考文献

最終閲覧日：2026 年 10 月 13 日。番号は本文での初出順。※は本文を直接取得できず転載・見出し等で確認したもの、または URL 等が未確認のもの。

[1] Meta “Introducing Muse Wonder and Muse Wonder Full: Frontier Models for Agents,” Meta Newsroom, 2026 年 10 月 12 日. https://about.fb.com/news/2026/10/introducing-muse-wonder-models/

[2] Meta AI Research “Muse Wonder: A Frontier Model For Personal & Professional AI Agents,” 2026 年 10 月 12 日. https://research.meta.ai/blog/muse-wonder

[3] Meta “Muse Wonder Model Card,” リリース日 2026 年 10 月 12 日. https://research.meta.ai/static/muse-wonder-model-card

[4] Riley Griffin “Meta Says New Muse Model Hits AI Frontier After Aggressive Push,” Bloomberg, 2026 年 10 月 12 日. https://www.bloomberg.com/news/articles/2026-10-12/meta-says-new-muse-model-reaches-ai-frontier-after-14-month-push ※有料記事。本文は Business Standard の転載で確認（見出しは版により異なる）

[5] 虎嗅（APPSO 転載）「刚刚，小扎发布神秘“西瓜”模型，跑分媲美 Opus5.5，口碑却一言难尽」2026 年 10 月 13 日. https://www.huxiu.com/article/4896960.html

[6] Carl Franzen “Meta’s new Muse Wonder and Muse Wonder Full models achieve frontier performance, but only the weaker one is available via API,” VentureBeat, 2026 年 10 月 12 日. https://venturebeat.com/technology/metas-new-muse-wonder-and-muse-wonder-full-models-achieve-frontier-performance-but-only-the-weaker-one-is-available-via-api

[7] Meta Model API “Pricing and rate limits”（日付記載なし）. https://dev.meta.ai/docs/pricing-rate-limits

[8] Meta Model API “Models”（日付記載なし）. https://dev.meta.ai/docs/models

[9] Artificial Analysis “Muse Wonder and Muse Wonder Full: a material jump in intelligence over previous Meta models,” 2026 年 10 月 12 日. https://artificialanalysis.ai/articles/muse-wonder

[10] Artificial Analysis「Muse Wonder Full」「Muse Wonder」モデルページ（Intelligence Index v4.3.2、2026 年 10 月 13 日閲覧）. https://artificialanalysis.ai/models/muse-wonder-full https://artificialanalysis.ai/models/muse-wonder

[11] Vals AI “Vals Index”／“Wonder Full Benchmarks, Cost and Capabilities,” 2026 年 10 月 12 日. https://www.vals.ai/benchmarks/vals_index https://www.vals.ai/models/meta_muse-wonder-full

[12] Curtis Pyke “Muse Wonder vs Wonder Full: Pricing, Benchmarks and What Matters,” Kingy AI, 2026 年 10 月 12 日. https://kingy.ai/blog/muse-wonder-full-pricing-benchmarks-comparison/

[13] ITmedia NEWS「Meta、同社最大の AI モデル「Muse Wonder」発表 記憶力と粘り強さを強化、AI エージェント「Muse」にも搭載へ」2026 年 10 月 13 日. https://www.itmedia.co.jp/news/article/2610/13/2000002197/

[14] Meta “Meta Model API Terms of Service,” 2026 年 10 月 9 日最終更新. https://dev.meta.ai/legal/terms-of-service

[15] Russell Brandom “Meta releases its first frontier model, Muse Wonder,” TechCrunch, 2026 年 10 月 12 日. https://techcrunch.com/2026/10/12/meta-releases-its-first-frontier-model-muse-wonder/

[16] Lena Park “Meta Ships Muse Wonder, Its First Frontier Model — and Leaves the Research Blog Empty,” Forkast, 2026 年 10 月 12 日. https://forkast.news/meta-ships-muse-wonder-its-first-frontier-model-and-leaves-the-research-blog-empty/ ※AI による執筆と表示された記事

[17] Yahoo Tech（Forkast 記事の掲載）“Meta Ships Muse Wonder, Its First Frontier Model — and Leaves the Research Blog Empty,” 2026 年 10 月 12 日. https://tech.yahoo.com/ai/meta-ai/articles/meta-ships-muse-wonder-first-204736224.html

[18] AGI Hunt “Viral ‘Meta Muse Wonder’ benchmark chart features an all-fictional model lineup,” 2026 年 10 月 13 日. https://agihunt.info/en/p/1a13110caf80ae374885c78f890 ※信頼性の低いアグリゲーター

[19] Rama Adi “Meta Muse Spark 1.3: benchmarks, pricing, and what actually changed,” eesel AI, 2026 年 9 月 3 日. https://www.eesel.ai/blog/muse-spark-1-3

[20] Nathan Cole “Muse Wonder vs Muse Spark: Upgrade or Route Per Task?,” MyClaw, 2026 年 10 月 13 日. https://myclaw.ai/blog/muse-wonder-vs-muse-spark

[21] Duncan Riley “Meta releases Muse Wonder AI models built to run personal and professional agents,” SiliconANGLE, 2026 年 10 月 12 日. https://siliconangle.com/2026/10/12/meta-releases-muse-wonder-ai-models-built-to-run-personal-and-professional-agents/

[22] Carl Franzen “Meta returns to open source with Muse Glimmer, an Apache 2.0 licensed 30B parameter AI model optimized for agents — available now,” VentureBeat, 2026 年 8 月 10 日. https://venturebeat.com/technology/meta-returns-to-open-source-with-muse-glimmer-an-apache-2-0-licensed-30b-parameter-ai-model-optimized-for-agents-available-now

[23] Olimpiu Pop “Meta Open-Sources Muse Glimmer: a 30B Local Agentic Model Optimised for On-Device Execution,” InfoQ, 2026 年 8 月 14 日. https://www.infoq.com/news/2026/08/meta-muse-glimmer/

[24] Meta Model API「Muse Wonder」モデル紹介ページ（日付記載なし）. https://dev.meta.ai/models/muse-wonder ※ページ題名は未確認

[25] Artificial Analysis “Harvey LAB-AA v1.1 Benchmark Leaderboard”（2026 年 10 月 13 日閲覧）. https://artificialanalysis.ai/evaluations/harvey-lab-aa

[26] Steffen Zahn “Meta Muse Wonder: Developers get it now, the Muse app skips Europe,” Notebookcheck, 2026 年 10 月 13 日. https://www.notebookcheck.net/Meta-Muse-Wonder-Developers-get-it-now-the-Muse-app-skips-Europe.1422810.0.html

[27] Hannah Murphy “Mark Zuckerberg says Meta has reached AI ‘frontier’ and rejects calls for slowdown,” Financial Times, 2026 年 10 月 12 日. https://www.ft.com/content/fca23e77-be57-4d7e-ae61-74ff299e25cb ※有料記事。本文は Yahoo Finance の転載で確認

[28] Krystal Hu, Kenrick Cai, Rishabh Jaiswal “Meta poaches 28-year-old Scale AI CEO after taking multibillion dollar stake in startup,” Reuters, 2025 年 6 月 13 日. https://www.hl.co.uk/news/meta-poaches-28-year-old-scale-ai-ceo-after-taking-multibillion-dollar-stake-in-startup ※Hargreaves Lansdown による転載。reuters.com の原 URL は未確認

[29] Ethmos “TMTB Podcast Intel: Zuckerberg and Wang on Meta’s (META) $100B Muse Wonder Bet …,” TMT Breakout, 2026 年 10 月 12 日. https://www.tmtbreakout.com/p/tmtb-podcast-intel-zuckerberg-and ※ポッドキャストの AI 生成要約

[30] Streamline Feed “Meta unveils Muse Wonder AI models amid massive infrastructure investment,” 2026 年 10 月 13 日. https://streamlinefeed.co.ke/news/meta-unveils-muse-wonder-ai-models-amid-massive-infrastructure-investment

[31] Jonathan Vanian “Meta debuts Muse Wonder AI model in latest test of users’ willingness to pay,” CNBC, 2026 年 10 月 12 日. https://www.cnbc.com/2026/10/12/meta-muse-wonder-ai-model-agent.html ※本文は取得できず、見出しを Techmeme で確認

[32] Jake Handy “Model Drop: Muse Wonder,” Handy AI（Substack）, 2026 年 10 月 12 日. https://handyai.substack.com/p/model-drop-muse-wonder

[33] Hacker News「Muse Wonder」スレッド, 2026 年 10 月 12 日. https://news.ycombinator.com/item?id=50059115 ※直接取得できず、HN Algolia API 経由で一部コメントを確認

[34] Will Knight “Muse Wonder Puts Meta Back at the AI Frontier,” WIRED, 2026 年 10 月 12 日. https://www.wired.com/story/muse-wonder-puts-meta-back-at-the-ai-frontier/ ※本文は取得できず、見出しを Techmeme で確認

[35] 网易号（IT 之家記事）「Meta 发布 Muse Wonder 模型，扎克伯格称公司已在 AI 前沿领域追上竞争对手」2026 年 10 月 13 日. https://www.163.com/dy/article/L94179TV0511B8LM.html

[36] 樽井秀人「Meta、同社史上もっとも高性能な AI モデル「Muse Wonder」シリーズを発表」窓の杜, 2026 年 10 月 13 日. https://forest.watch.impress.co.jp/docs/news/2147475.html

[37] 中野信二「Meta、会話を記憶し課題解決する AI「Muse Wonder」発表」AI Watch, 2026 年 10 月 13 日.

https://ai.watch.impress.co.jp/docs/news/2147662.html

[38] daily.dev “Muse Wonder,” 2026 年 10 月 12 日. https://daily.dev/posts/muse-wonder-g6akrigk7

[39] Dishant Sharma “Muse Wonder, the Frontier Model That Got Lost in a Forest,” DEV Community, 2026 年 10 月 13 日. https://dev.to/dishant0406/muse-wonder-the-frontier-model-that-got-lost-in-a-forest-3od1

[40] Lee Seok-woo “Meta Platforms unveils new AI model ‘Muse Wonder’ ... more intelligent than the latest GPT model,” Financial News, 2026 年 10 月 13 日. https://en.fnnews.com/news/202610130740367218

[41] Kim In-yeop “Meta Unveils AI Model Muse Wonder, Beating OpenAI’s Astra on Intelligence Index,” bloomingbit, 2026 年 10 月 13 日. https://en.bloomingbit.io/feed/news/122110

[42] Kadrey v. Meta Platforms, Inc., No. 3:23-cv-03417-VC (N.D. Cal. June 25, 2025), Order Denying the Plaintiffs’ Motion for Partial Summary Judgment and Granting Meta’s Cross-Motion for Partial Summary Judgment (Dkt. 598). https://storage.courtlistener.com/recap/gov.uscourts.cand.415175/gov.uscourts.cand.415175.598.0.pdf

[43] Jonathan Vanian “Meta wins AI copyright case, but judge says others could bring lawsuits,” CNBC, 2025 年 6 月 25 日. https://www.cnbc.com/2025/06/25/meta-llama-ai-copyright-ruling.html

[44] Chloe Veltman “Scott Turow’s latest real-life legal thriller: Suing Meta for copyright infringement,” NPR, 2026 年 5 月 5 日. https://www.npr.org/2026/05/05/nx-s1-5812623/scott-turow-meta-lawsuit

[45] Samantha Subin “Meta says it won’t sign Europe AI agreement, calling it an overreach that will stunt growth,” CNBC, 2025 年 7 月 18 日. https://www.cnbc.com/2025/07/18/meta-europe-ai-code.html

[46] The Register, 2025 年 7 月 18 日（欧州委員会 Thomas Regnier 報道官の発言を掲載した記事）. ※URL 未取得・記事題名未確認

[47] 内閣官房 知的財産戦略推進事務局「生成 AI の適切な利活用等に向けた知的財産の保護及び透明性に関するプリンシプル・コード」2026 年 8 月 25 日公表. https://www.cas.go.jp/jp/seisakukaigi/titeki2/ai_principle_code/index.html https://www.cas.go.jp/jp/seisakukaigi/titeki2/ai_kentoukai/kaisai/pdf/ai_principle_code.pdf